

プレスリリース
報道関係者各位

第 19 回 FIT チャリティ・ラン 2023 支援先団体を発表

～ 東京の金融業界が集結し、地域社会の非営利団体に貢献します ～

東京 | 2023 年 11 月 7 日

Financial Industry in Tokyo（以下、「FIT」）チャリティ・ラン 2023 実行委員会（共同実行委員長：表寛子/ピムコジャパンリミテッド、デービッド・シェーファー/SMB C日興証券）は、第 19 回 FIT チャリティ・ラン 2023 に向けて集められた寄付金を、8 団体に寄付することを決定いたしました。FIT チャリティ・ランは、2022 年開催の第 18 回大会までに、参加者総数は 9 万 1 千人を超え、総額約 9 億円の寄付金を延べ 136 の非営利団体の支援に拠出してきました。寄付金総額は今年 10 億円に達する見込みです。

今年のイベントに向けた集められた寄付金は、**認定 NPO 法人 フードバンク渋谷、認定 NPO 法人 ピッコラレ、一般社団法人 チョイふる、キッズファム財団(一般財団法人)、一般社団法人 WheelLog、公益財団法人 日本チャリティ協会、特例認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ、NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会**の 8 団体に寄付されます。これらの団体の活動分野は、貧困、支援を必要とする子供と若者、医療、環境・生物の多様性、障がい者と多岐にわたっており、関東近郊の地域社会に密着した各団体の活動に役立てられる予定です。

FIT チャリティ・ラン 2023 共同実行委員長を務めるデービッド・シェーファー（SMB C日興証券）は、以下のように述べています。「まず、本年も 52 社にも及ぶ金融機関および関連企業にご協賛いただいたことに、感謝申し上げます。寄付先選定においては、今回、支援企業からご推薦いただいた支援先団体はこれまでにない 44 団体に及び、厳正な審査プロセスを経て 8 団体に決定いたしました。各団体が取り組む活動も幅広く、社会課題も多様化が進み、まだ社会に認知されていない様々な問題が発生していることに気づかされると同時に、FIT チャリティ・ランの開催を通じて支援を継続していくことの意義を再確認しました。また、FIT チャリティ・ランが参加者の皆様にとって安全で楽しいイベントであるとともに、こうした社会問題を知り、関心を持つきっかけであり続けることを、心より願っております。」

本年の FIT チャリティ・ランは、オンラインと明治神宮外苑周辺道路での実開催の、ハイブリッド開催です。12 月 10 日に開催予定の実開催は 10Km/5Km ラン、ウォーク、キッズラン、企業対抗リレーを実施し、各種目の上位者を表彰します。また、最も多額の寄付金を集めた参加企業の表彰も行います。11 月 6 日から 12 月 3 日まで開催中のオンライン・イベントはランニング、ウォーキング、サイクリングを各参加者が自由な場所で実施し、その結果を運動追跡アプリ「Strava」を使って参加者間で共有、各種目の期間中の合計距離上位者を発表します。

FIT チャリティ・ラン 2023 共同実行委員長、表 寛子（ピムコジャパン）は、次のように述べています。「FIT は今年 19 年目を迎え、寄付金総額は 10 億円に達する見込みです。1 つの重要なマイルストーンを迎えるにあたり、これまで FIT を支援くださったスポンサー企業、協力企業、ボランティアの皆様、改めて感謝申し上げます。こうした多くの皆様の温かいお気持ちとご支援により、FIT は平均約 90%のパススルーレート（開催経費を差し引いた寄付金率）を実現できています。今回の T シャツが表現しているのは、まさにこうした皆様の温かいご支援の軌跡です。今後も FIT を引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。」

【大会概要】

大会名称：FIT チャリティ・ラン 2023

主催：FIT チャリティ・ラン 2023 実行委員会

後援：東京都、朝日新聞社、日本経済新聞社

開催日：<オンライン> 2023年11月6日(月)～12月3日(日)

<実開催> 2023年12月10日(日)

場所：オンラインおよび明治神宮外苑周辺道路での実開催

* 状況によってはオンライン開催のみとなります。

* オンラインは Strava を使用。

種目：<オンライン> ランニング・サイクリング・ウォーク

<明治神宮外苑周辺> 10Km ラン、5Km ラン、ウォーク、キッズラン、企業対抗リレー

参加費：6,000 円

対象：金融サービスおよび関連事業を展開する企業の社員とその家族・知人。

【FIT チャリティについて】

東京の金融サービスおよび関連事業を展開する企業（金融機関及び関連企業）が、地域に根ざした社会的に意義ある活動をしているものの、認知度等の問題により十分な活動資金を確保できていない非営利団体を、業界全体で支援することを目的とするチャリティ・イベントです。2004 年末に発生したスマトラ沖大地震及びインド洋大津波を機に 2005 年から毎年開催されており、コロナ禍においてはオンラインイベントを開始し、以降オンライン開催と実開催のハイブリッド開催にて実施しています。2022 年はコロナ後初の実開催を 9 年ぶりに、新しくなった新国立競技場で開催いたしました。なお本イベントの運営、スポンサー企業の募集、支援先団体の選定、協力企業の募集など、その運営のほとんどは金融機関および関連企業に勤務する従業員等からなるボランティアによって行われています。

公式ウェブサイト <http://fitforcharity.org/ja/index.html>

公式 Facebook <https://www.facebook.com/fitforcharityrun>

公式 X(Twitter) https://twitter.com/FIT_For_Charity

【FIT チャリティ・ラン 2022 支援先団体一覧】（英語名称アルファベット順）

認定 NPO 法人 フードバンク渋谷

<https://foodbank-shibuya.org/>

認定 NPO 法人 ピッコラーレ

<https://piccolare.org/>

一般社団法人 チョイふる

<https://www.choice-ful.or.jp/>

キッズファム財団(一般財団法人)

<https://kidsfam.or.jp/>

一般社団法人 WheelLog

<https://wheelog.com/hp/>

公益財団法人 日本チャリティ協会

<https://www.charitykyokai.or.jp/>

特例認定 NPO 法人 子ども支援センターつなぐ

<https://tsunagg.org/>

NPO 法人 樹木・環境ネットワーク協会

<https://www.shu.or.jp/>



【FIT チャリティ・ラン 2023 実行委員会】（英語名称アルファベット順）

ビービーエイチ ケアーズ、BGC 証券会社東京支店、ブルームバーグ エル・ピー、シティ、Colt データセンターサービス、デロイト トーマツ グループ、フィデリティ投信株式会社、太陽 Grant Thornton、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ・ジャパン(株)、J.P. モルガン、ジョーンズ ラング ラサル株式会社、KPMG ジャパン、株式会社ラザードフレール、三菱 H C ビジネスリース株式会社、三菱 H C キャピタル株式会社、株式会社 三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレー、内藤証券株式会社、ナットウエスト・マーケット証券、日興アセットマネジメント株式会社、ピムコジャパンリミテッド、PwC Japan グループ、ロイター・ニュース・アンド・メディア・ジャパン株式会社、RGA リンシュアランスカンパニー、RSM ジャパン、株式会社 SBI 新生銀行、S M B C 日興証券株式会社、ソーシャル・インベストメント・パートナーズ、三井住友 DS アセットマネジメント株式会社、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社、UBS グループ

【FIT チャリティ・ラン 2023 協賛企業】（英語名称アルファベット順）

企業スポンサー（寄付金 50 万円以上）

アバディーン・ジャパン株式会社、オーストラリア・ニュージーランド銀行、アバナード株式会社、アクサ 、パークレイズ、ブラックロック、ブルームバーグ エル・ピー、BNP パリバ・グループ、BNY メロン、シティ、Colt データセンターサービス、クレディ・アグリコル・グループ、CVC Asia Pacific、デロイト トーマツ グループ、ファーストブラザーズ株式会社、太陽 Grant Thornton、ハクルートアンドカンパニー・ジャパン、フォーリハン・ローキー株式会社、HSBC グループ、いちごアセットマネジメント株式会社、IG 証券株式会社、インベスコ、J.P.モルガン、ジャナス・ヘンダーソン・インベスターズ、株式会社証券保管振替機構、ジョーンズ ラング ラサル株式会社、株式会社 KJR マネジメント、KKR Japan、KPMG ジャパン、ラザード、LGT ウェルスマネジメント信託株式会社、ロンドン証券取引所グループ、三菱 H C キャピタル株式会社、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループ、モルガン・スタンレー・ホールディングス株式会社、内藤証券株式会社、日興アセットマネジメント株式会社、野村ホールディングス株式会社、オストラ、ピムコジャパンリミテッド、PwC Japan グループ、RBC ブルーベイ・アセット・マネジメント、RGA リンシュアランスカンパニー、RSM ジャパン、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社、S M B C 日興証券株式会社、スタンダードチャータード、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社、東京スター銀行、UBS グループ、ウェルズ・ファーゴ、ホワイト&ケース外国法事務弁護士事務所・ホワイト&ケース法律事務所(外国法共同事業)

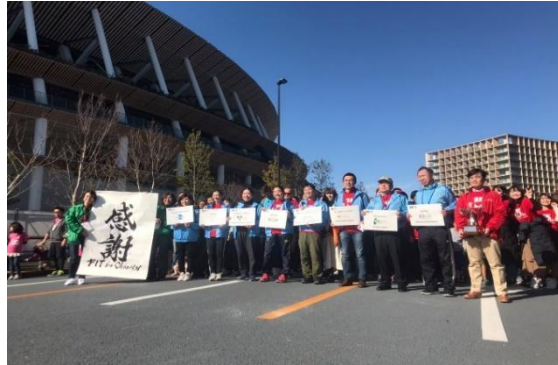


【広報用画像】

- * ご希望の画像番号を広報担当宛てにご連絡ください。
- * 画像掲載時には、クレジットの記載をお願い致します。
- * その他画像提供などにつきましては、広報担当宛てにご連絡ください。



[1]



[2]



[3]



[4]



[5]



[6]

(c)FIT チャリティ・ラン 2019／撮影：福永晃、藤倉大輔、村越将浩、和久井ひとみ

【本件のお問い合わせ先】

FIT チャリティ・ラン 2023 実行委員会 広報担当副実行委員長

仲矢 裕 (MUFG) |090-6111-1538 | communications@fitforcharity.org